

KEY TOPIC

# 謎解きイベントを通して企業と消費者をつなぐ 大人気のエンタメを全国で!

自治体のまちおこしや企業の集客イベントとしてすっかり定着し、高い人気を誇るエンターテインメントコンテンツ「謎解き」。中広では10年前から謎解きイベントを事業化しており、さまざまなクライアントの集客とプロモーション活動に利用いただいています。事業を支えるSP事業部の後藤大地副事業部長に、謎解きの特長や強みについて聞きました。

## 集客イベントとして 高い人気を誇る謎解き

謎解きは15年ほど前に世の中に登場し、その後、一気に広まった比較的新しいエンタメコンテンツ。特にコロナ禍が明けた後は人気が高まっており、現在、市場規模は500億円程度にまで拡大していると言われています。

謎解きの一番の魅力は幅広い世代が楽しめること。「内容にもよりますが、スタンプラリーは大人か子ども、どちらかの要望が先に立ってしまいがちなので、親子と一緒に楽しむのは難しい側面があります。しかし謎解きはひらめきで謎が解けるので、親子が同じ目線で一緒に楽しむことができます。これが魅力です」と後藤副事業部長は説明します。

親子と一緒に知恵を絞り、一瞬のひらめきで謎が解けるから面白く、夢中になれる。そんな謎解きは現在、多くの企業や施設で集客イベントとして人気を博しています。例えば自動車ディーラーやハウスメーカーの場合、従来は抽選会や子ども向けイベント、プレゼントなどが主な集客手段でした。しかし謎解きは注目度が高いことに加え、イベントを実施する企業に合わせて柔軟に内容を変えられることが強みです。

「自動車ディーラーであれば、『展示車が何者かに盗まれてメモが残されていた。試乗車に乗って謎を解き明かし、車を取り返そう』な



SP事業部 副事業部長  
後藤大地



謎解きイベントの告知用ビジュアル。こうした資料も一括して準備が可能です



ど、自動車ディーラーならではの物語と謎を創作し、参加者にワクワク感を提供できます。自動車ディーラーにとっては、謎解きの一環として無理なく試乗してもらい、自社製品の良さを体験してもらうこともできます。こうした柔軟性やエンタメ性の高さ、何よりも企業と消費者をつなぐプロモーション力が、企業による謎解きイベント人気の理由なのだと言います。後藤副事業部長は解説します。

## 謎の創作まで担える ワンストップ体制が強み

中広ではこれまでに鉄道会社、宿泊施設、食品メーカー、家電量販店、自動車ディーラー、ハウスメーカー、大型商業施設、行政な

どから謎解きイベントを受注しており、数百から数万人を対象としたイベント運営を実施してきました。中核を担う後藤副事業部長は、謎解きクリエイターとして創作も担当。イベント運営はもとより、社内で物語や謎まで作れるワンストップ体制が多くある企業や行政から信頼される要因です。

「参加者の楽しんでいる顔や、期待以上だったと喜んでくれるクライアントの満足感が一番のやりがいです。プロモーション効果が抜群の謎解きイベントに興味のある方は、一度お問い合わせいただければ幸いです」ウェブサイトやSNSの活用など、進化している謎解き。今後も確かなクオリティを強みに、全国各地の企業や行政、そして参加してくれる地域の人々に笑顔を届けていきます。

## 『オレンジクラブ』新規創刊への思い



オレンジクラブ編集室長  
竹内将太

入社当初から地元である三河エリアの情報誌発行に携わることを目標にしており、待望の新規創刊編集室長のチャンスということで手を挙げました。

初めての新規創刊担当であり苦労はたくさんありましたが、案内したクライアントからいただいた「地域誌がなかったから待ってたよ」「創刊したら、うちにも設置させてね」などの言葉を励みに、楽しみながら乗り超えて予算も

達成し、7月26日に無事、創刊できました。

地域の読者とクライアントのために、今後も面白い情報誌づくりと、ハイブリッド広告による反響を追求します。

発行部数 35,000部  
(無料各戸配布34,200部、無料設置800部)  
発行日 毎月第4金曜日  
発行エリア 愛知県 蒲郡市、幸田町

COLUMN

## 敬う心

目下の人にこそ、ねぎらいのひと言を。

暑中お見舞い申し上げます

### 都知事選挙に見る 政治の仕組みの変化

先月、私は久々に熱くなりました。東京都知事選挙です。YouTubeで広島県安芸高田市の石丸伸二前市長の存在を知りました。縁もゆかりもないのですが、市議会でのやり取りが実に痛快。地方自治体の現状を見事に投影していて、その解決を試みようとして行政トップとして命懸けで取り組んでいました。二元代表制を尊重し、市議たちと緊張感を持って真剣勝負しています。彼の言動に興味を持ちました。

石丸氏は、この国のどんよりした閉塞感、その原因が「しがらみと利権」にあることを見事に暴いて見せます。同時に安芸高田市の将来に対する危機感を露わにしました。日本のどこにでもある、ごく平凡な小さな自治体、このままではあかん、沈んでしまうと。

石丸氏の必死な姿勢は、地域をこよなく愛し地方をなんとかしたいと思う人々の心に、共感をもたらしました。私もその一人です。市長職を2ヵ月残して辞任。投票日まで50日を切った東京都知事選に完全無所属で挑みました。

金融機関でアナリストの経験を持ち、この国を建て直すには経済に活力を与えねばならないと訴える。東京が経済の中心として変わらなければ、日本は変わらない。東京が変われば日本が変わるという彼の政策・主張は、『地域みっちゃく生活情報誌』を日本全国5,000万世帯にお届けすることで「地域経済を活性化」したいと思う私の生き方と合致しました。だから熱くなって彼を支援しました。

もちろん、都知事選の選挙権はありません。やれることは、私の友人・知人、東京都民の知り合いに、石丸氏の動画をSNSで送ること。迷惑を鑑みず、深夜に後藤からLINEが届く。何事かとびっくりする人や、俺も彼が良いと思っているなどと、熱い返信がたくさん来ました。熱くなるってことは、人を巻き込むことなんだと改めて思いました。感謝、感謝です。

結果は残念無念。しかし、大方の予想を覆し165万票を獲得。SNSの伝達力を痛感しました。わずか2ヵ月で165万人、投票用紙に彼の名前を書いた事実。SNSによって情報が伝播する時代を証明しています。既存のメディアを凌駕するIT社会、直接民主主義を可能にする時代を実感させられました。一人の政治家がSNSで主張し、有権者の共感を得て多大な票を得ることができるのです。政党を結

成して支持者を増やし、権力を掌握するという政治の仕組みを根本から変えることが実証されました。しかし一方で、当選には不十分であり、SNSだけでは中途半端であることも実証しました。リアルとネットの融合があってこそ、情報は確実に伝わるのです。

毎月1,100万部以上の『地域みっちゃく生活情報誌』を発行する中広グループが推進しているハイブリッド広告は、言うまでもなくリアルとネットの融合。広告効果を高める手法であると、自信を一層深めました。

### リフィル処方箋が 普及しないのはなぜか

突然ですが、リフィル処方箋ってご存知ですか。私は知りませんでした。同じ時期に同じ原因で同じ症状が出るような、例えば花粉症など。患者の判断で同じ薬を服用すれば事足り



暑中お見舞い申し上げます・岐阜の水うちわ

るような場合、医師の診断を受けずとも、薬局で薬を受け取れる処方箋です。英語でリフィル、薬のボトルをいっぱいに戻すと言う意味。実はこの制度は日本に存在していますが、厚労省によると普及率は0.05%。一昨年からスタートしたのですが、存在しないに等しい認知度です。

長時間診療所で待つ必要もなく、薬局で簡単に薬がもらえる便利な制度が国民に浸透しないのはなぜなのか。リフィル処方箋のデメリットは三つ。一つは症状悪化のリスク、二つ目は医薬品の転売・譲渡のおそれ、そして三つ目に通院回数の減少による病院収入の減少です。日本の総医療費は50兆円もの巨額。この膨大な医療費の削減のためにも、リフィル処方箋の認知度を高め、医師も患者も積極的に活用していくべきだと思っています。

しかし、リフィル処方箋の普及を妨げているのが、三つ目の理由によるものならば、根深い問題です。我々は医師の言葉に耳を傾け、身を委ねるのが医師の役割だと信じ、敬っているからです。「医は仁術」なり、算術ではなかったはずですが、リフィル処方箋が普及しない理由が医療側の問題などと侮られるのは悲しいことではありませんか。

### 思いやりや労りが 敬う心を育てる

人の身体が老いるのは簡単です。老いに抗うことをやめればよいだけです。頭も同じで、思考を停止すれば、脳細胞は壊れていきます。脳は全体のわずか3%しか使われないと言われますが、その3%が壊れるのです。

脳の老化に抗う私の方法は読書に尽きますが、それでも老化は止まりません。毎日6紙の新聞をめくり記事を読み、書籍広告に載った新刊を買って読んでいます。

身体と脳、そしてもう一つの衰えは気力。つまり心の衰えです。サミュエル・ウルマンの詩『青春』を思い浮かべてみてください。

——青春とは人生の或る期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こう言う様相を青春と言うのだ——

気力が萎えた時、心が沈んだ時、人は年齢に関係なく老いるのです。気力とは何か。ウルマンの詩は、こう語ります。

——人は信念と共に若く、疑惑と共に老ゆる。人は自信と共に若く、恐怖と共に老ゆる。希望ある限り若く、失望と共に老い朽ちる——と。

7月初旬、英国下院の総選挙が行われ、与党保守党は歴史的な大敗を喫し、野党労働党に政権を明け渡しました。スナク前首相の最後の演説を新聞で読みました。新首相を讃え、政権を担う勝者全員の幸運を折り、意見の相違があっても今後の健全な議論を呼びかける。相手への「敬と礼」があってこそ、民主主義は成り立つと思いました。国会に振り回されない英国政府と、国会のためにある日本の政府との違いはあるにせよ、敗者には謙虚な態度が不可欠であり、勝者には素直な姿勢が必要なのだと感じました。

「敬う」とはどういうことか。部下や年下の人に対する接し方を見るとわかります。目下の人に傲慢な態度をとる者に限って、目上の人おもねに阿るものです。目下の人に対する言葉遣いをぞんざいにせず、思いやりや労りのひと言があるかどうか。

松下幸之助はエッセイ「道をひらく」の中で、「敬う心」について「親を大事にし、上司に敬意を払う。先輩に礼をつくし、師匠に懸命に仕える。親や師にたいするだけではない。よき仕事を人を心から尊敬し、一隅を照らす人にも頭を下げる。天地自然、この世の中、敬う心があれば、敬うに値するものは無数にある」と記しています。

日本人が大切に育ててきた「敬う心」。それは一人ひとりの心のあり方なのではないでしょうか?



地元ロータリークラブの周年をPR

地域みっちゃく生活情報誌

## 地域貢献活動を可視化するPR戦略

今年創立50周年を迎える、可児ロータリークラブ。「長年の地域貢献活動を地域の皆さんにもっと知ってほしい」との相談を受け、岐阜県可児市・美濃加茂市近郊で発行する『かにさんくらぶ』7月号での表紙、巻頭特集および運動企画を提案、実施いたしました。

巻頭特集ではこれまでの活動内容や50周年記念事業、今後の目標などを紹介。地域への貢献を具体的に伝えることで、ロータリークラブの活動を深く理解していただける内容としました。

さらに、「この地域を支える、元気企業」として、加盟企業を記事広告形式で紹介する企画も実施。普段はBtoBで活動し、エンドユーザーとの接点が少ない企業も、仕事や地域に対する思いを発信する機会となりました。同企画では18社以上の企業に賛同いただき、表紙、巻頭特集と合わせて見応えのある誌面となりました。

周年事業をはじめとするパブリックイメージの向上や、地域に特化した認知向上は当社にお任せください。

(かにさんくらぶ編集室・光田)



40代～50代男性を魅了する広告戦略

地域みっちゃく生活情報誌

## 巻頭特集に付随した広告提案で効果を最大化

滋賀県草津市・栗東市・守山市・野洲市で発行する『湖南フリモ』7月号巻頭特集では、栗東市出身の人気漫画家、森田まさのり先生を取り上げました。

代表作『ろくでなしBLUES』『ROOKIES』が『週刊少年ジャンプ』に連載されていた1988年～2003年当時、夢中になって読んでいた世代は現在40代～50代。今回の巻頭特集は、そんな皆さんの青春時代を彩った作品の魅力を再発見し、当時の熱い気持ちを呼び起こす内容です。

巻頭特集と連動し、40代～50代男性の心を掴む企画として、バイク販売大手のレッドバロンにもご協力いただきました。イメージが湧きやすいよう、巻頭特集の対向ページに広告を掲載したビジュアル見本を提示したところ、担当者が同世代だったこともあり、即決で掲載が決定しました。

今後も読者の心に響く情報誌づくりを目指し、掲載したくなるコンテンツを考えて、反響の出る誌面作成をしていきます。

(湖南フリモ編集室・馬場)



システム会社の出前授業を企画・運営

イベント

## 未来のIT人材育成をサポート

IT人材不足が叫ばれるなか、愛知県においてもデジタル推進の担い手不足は深刻です。この状況を打開したいという株式会社ティエスケイ中部から、「未来を担う子どもたちがデジタルに興味を持つきっかけをつくりたい」という要望を受け、小学生向けデジタル体験教室を企画・運営いたしました。

ヒアリングで得た希望内容をもとに、同社社員が講師を務める授業を提案。ゲーム感覚でITを学べる教材を用いることで、子どもたちのデジタルへの興味を自然と引き出す内容にしました。授業は学童保育の場を活用し、小学校との調整も当社が担当して、安心して実施できる環境を整えました。

参加いただいた子どもたちはもちろん、講師を務めた社員からも「自分たちの知識を活かしてうれしい」「子どもたちの笑顔が見られてよかった」と、喜びの声が寄せられました。

小中学生のキャリア教育サポートに力を入れる当社では、関連業務のさまざまな知見があります。ご興味がある企業の皆さんはぜひお問合せください。

(名古屋SP2課・宮西)



葬儀の疑問をコラムで解消

地域みっちゃく生活情報誌

## 「いざ」というとき、選ばれる存在へ

名古屋市内で40年以上の歴史を誇る葬儀会社。『NAGOYA FURIMO北区版』5月号より、年間で掲載いただいています。

葬儀は人生で必ず向き合うテーマでありながら、普段は考えたくないと感じる人も多いのではないでしょうか。そこで、毎月9割以上の読者が手に取る『地域みっちゃく生活情報誌』を活用。読者が何気なくページをめくるなかで、自然と葬儀に関する情報に触れる機会を創出しています。

掲載内容は、毎月テーマを変え、「家族葬と一般葬の違い」「葬儀の流れ」「終活のススメ」など、いざというときに役立つ知識を提供。葬儀に関する不安や疑問を解消しながら、クライアントの認知度向上と信頼関係の構築に貢献しています。

生活圏エリアごとに情報誌を発行する当社では、サービス内容やターゲット層、商圏に合わせ、最適な掲載誌と掲載プランを提案いたします。地域に根差した広報活動をご検討中の企業の皆さんは、ぜひお気軽にご相談ください。

(名古屋AP課・岩本)



## VCTOPIC

### 観光コンテンツを活かしたスタンプラリーを実施

宮古島の特産品直売所「島の駅みやこ」では、毎年宮古島産マンゴーの販促プロモーションを行ってきました。今年は『宮古ストーリー』7月号の巻頭特集と連動し、宮古島産マンゴーを提供している飲食店を巻き込んだデジタルスタンプラリーを実施。観光協会や商工会議所などへの後援依頼、ポスター、スタンプラリーの制作、広告営業など、企画運営全体を弊誌で担当しました。

最終的に33店舗に参画いただき、巻頭特集ページを抜き刷りパンフレットとして観光客向けに空港等で配布したり、既存のLINEスタンプラリーを活用したりするなど複合的な企画となった結果、開始3週間で約900人が参加。まだ期間中ですが、参画店舗数・ユーザー数ともにクライアントから評価いただいております。



▲7月号スタンプラリー誌面

沖縄県『宮古ストーリー』株式会社アートアベニュー

CHUCO CLUB

## 2023中日新聞エリア広告賞 優秀賞受賞

【岐阜県瓦葺組合創立50周年企画】

中日新聞地方版に1年間に掲載された企画広告のうち、優れた作品に与えられる中日新聞エリア広告賞。瓦屋根の専門家集団である岐阜県瓦葺組合の創立50周年を記念した企画広告が、2023中日新聞エリア広告賞・岐阜の部で優秀賞を受賞しました。

受賞作品は、地震や台風などの自然災害に強い瓦屋根の安全性、快適性、経済性といった魅力を分かりやすく紹介しています。さらに、悪質な屋根工事業者による被害を防ぐための注意喚起を促すなど、消費者保護の観点も高く評価されました。また、エリアごとに加盟店情報を掲載し、読者がすぐに相談できるよう工夫しています。

(岐阜SP部・野々村)



## 第52回岐阜広告協会賞 銀賞受賞

【多治見市観光パンフレット外国語版】

多治見市からの委託で制作した外国語版の観光パンフレットが、第52回岐阜広告協会賞のグラフィック広告部門で銀賞を受賞しました。陶芸を通じて得られる「リトリート(自分に向き合うこと)」の効果が海外で注目されていることから、作陶体験ができる施設などを中心に紹介する内容となっています。

アートディレクションは、クリエイティブ部のデザイナーが担当。美濃焼の質感が伝わるアーティストックな表紙、冊子全体の流れを鑑みた色遣いなど、当社のクリエイティブ力を結集し、多治見市の魅力を世界に発信するお手伝いができることを誇りに思います。

(クリエイティブ部・山口)



## につぼんど真ん中祭り参加者オリエンにて発表

名古屋が舞台の日本最大級の踊りの祭典、につぼんど真ん中祭り(通称:どまつり)。出演者向けのオリエンテーションにて、当社発の連載小説『女子大小路の名探偵 新章』が、どまつりを舞台に展開する旨を発表しました。大島社長と著者の秦建日子先生が「実名で出演したい人は?」と問いかけると多くの挙手が。実在の方が被害者となる展開も?連載中の物語は、過去分と併せてウェブサイトにてお読みいただけます。

(広報・マーケティング担当 岡本)



クリック

◀こちらのサイトで小説の連載がお読みいただけます

## ハッピードリンクで営業現場をサポート

今年も熱中症のニュースを耳にするようになり、猛暑が予想されます。そんな暑さのなか、広告業を通して「地域社会への貢献」を理念としている当社は、一つでも多くのハッピーな情報を地域に届けるため、全国各地でスタッフが奔走しています。

日々奮闘する仲間たちに感謝と激励を込め、総務人事部ではハッピーメディア®にちなんで「ハッピードリンク」と命名し、全国64拠点に毎年スポーツドリンクを配布しています。今年で5年目のこの取り組み、これからも地域のために頑張る仲間たちがより働きやすい環境を整えていきます。

(管理本部・酒井)

部署だより NO.127

FM事業部

『フリモかわら』編集室



▲「フリモかわら」編集室スタッフ

愛知県碧南市・高浜市で親しまれてきた「フリモかわら」。休刊から1年を経て、2024年9月号よりリニューアル創刊いたします。

西三河地区の西端に位置するこのエリアは、港への近さから港湾都市としての顔を持ちます。広大な工場や倉庫が立ち並び、100年以上の歴史を持つ老舗企業が地域経済を支えています。中でも、日本三大瓦のひとつである三州瓦の産地として知られ、生産量は日本有数を誇ります。

『フリモかわら』という誌名は、かつて人々が情報交換に活用した「かわら版」に由来します。地域に密着した情報を発信し、人と人とのつながりを深める媒体でありたいという願いが込められています。9年以上にわたり、地域の皆さんの生活に寄り添い、愛されてきた雑誌名を引き継ぐことには、プレッシャーもあります。この名前に恥じぬよう、地域のシンボルである瓦のように、地域に根差した情報誌を目指してまいります。記念すべき第1号は、8月23日発行予定です。

(フリモかわら編集室・酒井)

## 編集後記

2024年の夏季休暇は、お盆前の3連休と合わせて9連休になる企業が多いようです。(当社は16日は営業いたします!)

近年はテレワークの普及や柔軟な勤務体制の導入により、長期休暇が取得しやすくなっています。多くの企業が従業員のワークライフバランスを重視し、夏季休暇の延長や有給休暇の取得を推奨していることも、この傾向を後押ししているようです。

しかし、この長期休暇が思わぬ事態を招いています。そう、9月号の情報誌の校了日が、皆さんの夏季休暇に重なってしまうのです!

そこで、多くの情報誌では校了日を前倒ししています。皆さんに気持ちよく休暇を迎えていただけるよう、社員一同、原稿制作から校了まで全力で取り組みます。駆け込みでの依頼も、ぜひお気軽にご相談ください。

(広報・マーケティング担当 岡本)



# 直近はもちろん2030年問題に向き合う企業求人もバックアップ 企業の人材確保を支える多彩な求人ツール

少子高齢化が進む日本において、事業の維持・継続・発展のための人材確保はどの企業でも喫緊の課題ではないでしょうか。それなのに、人手不足が慢性化している状況下では、求人を持ってなかなか人が集まらないのは頭の痛い問題です。中広は幅広い求人ツールで、今、そして未来のための人材確保という企業課題を解決しています。

## 減少し続ける労働人口と慢性的な人手不足

昨年5月に実施された新型コロナウイルス感染症の5類移行によって、日本の経済活動は活性化しました。企業活動がコロナ禍前の状態に戻っただけでなく、旺盛なインバウンド需要に対応するべく、有効求人倍率は1倍を上回り、労働市場では人手不足の状態が続いています。

しかし今後日本を待ち構えているのは、経済活動の活性化ではなく、社会的要因による人手不足。つまり、少子高齢化による労働人口の減少です。例えば2025年問題。これは、第一次ベビーブームに生まれた団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となることで、医療・福祉分野の人手不足が顕在化するとされる社会現象です。その延長線には2030年問題が控えています。内閣府が発表した『令和5年版高齢社会白書』によれば、6年後の日本の高齢化率は30.8%で、国民の約3人に1人が65歳以上の高齢者となり、15歳から64歳までの労働人口は令和4年と比べて345万人も減少すると推計されています。2030年問題は、少子高齢化を背景としたさまざまな社会問題の顕在化を指しますが、当然そこには労働力不足も大きな問題として含まれています。

言うまでもなく、地域の企業は地域の人材を確保するのが基本です。つまり2025年以降、地域の企業が事業を維持・継続・発展させていくには、地域の労働市場でいかに人材を確保できるかが今まで以上に重要となるのです。

## 中広の誇る多彩な求人ツールの数々

中広は1983年に求人情報紙事業を開始しており、現在でも「地域みっちゃく生活情報誌」にて地元企業の求人情報「まちJOB」を掲載し続けています。地域の求人に関して、実に40年を超える実績とノウハウを持っているのです。

『地域みっちゃく生活情報誌』の求人情報が、地域を豊かにする情報として不可欠であることはもちろんですが、多くの地元企業から

長らくご愛顧いただいているのは、読者層が労働人口層とマッチしているから。そして読者と企業をつなぐ、さまざまな切り口の求人企画を立案しているからです。

もちろんそれだけでなく、4年前からはQRを読み込むだけで手軽に求人情報に応募できる「フリモアプリ求人」を実装。時代に合わせ、求職者の利便性に配慮することで好評を得ています。

また、3年前からは外部求人サイトとの自動連携機能を持つATS(求人管理システム)「アットカンパニー」を導入しました。労働市場の最新のニーズに合わせ、より簡単・便利に、広範囲からの人材獲得を目指す企業の要望にも応えています。

## 地元の求人情報が満載! まちJOB まちジョブ



幅広い地元求職者に訴求する「地域みっちゃく生活情報誌」の人気企画「まちJOB」。「フリモアプリ求人」によってQRから気軽に応募できる仕組みも読者に好評です



求人専用のオウンドメディアを構築し、外部求人サイトと連携することで、広域で求職者にリーチできる「アットカンパニー」。もちろんスマートフォンにも最適化されます

## 高校新卒者向け情報誌で3年以内離職を防ぐ

他方、今日の前にある人手不足への対処ではなく、良い人材を確保し、会社の未来を担う人材に育てたいというのは、多くの企業の要望です。しかし、これを難しくしているのが若者の3年以内離職問題です。

厚生労働省によれば、令和6年3月末の高校新卒者の就職内定率(学校やハローワークからの職業紹介を希望した生徒が対象)は99.2%だったものの、3年以内離職率は37%と高水準でした。理由はさまざまありますが、自分がやりたいことと仕事内容が違うというミスマッチは大きな要因です。

なぜミスマッチが起きるのか。求人票の公開から会社見学まで十分な時間がないことや、1人の生徒が応募できる企業を1社とする「1人1社制」など構造的な問題点が指摘されています。当社は情報が重要だと考えています。高校生が地元企業を知り、仕事内容や働く人々の声を読み、理解を深めてから会社を選ぶことでミスマッチを減らし、離職を防ぐ。こうした意図から、2019年より高校生のための就職応援本「Start!」を各県で発行。地域の若者が地域企業で長く働き続けるためのサポートをしています。



地元企業の事業内容はもちろん、働く人々の声や1日の仕事のスケジュールなどを知ることで、就職後の自分を具体的にイメージできる高校生向け就職応援本「Start!」

年々進行する少子高齢化と労働人口の減少、そして人手不足。人材を確保し、長く働いてもらうことは企業にとって死活問題です。中広は女性を中心として幅広い地域読者に訴求力を持つ「地域みっちゃく生活情報誌」、エリアを超えて求職者にリーチする「アットカンパニー」、高校新卒者を支援する「Start!」と、多彩なツールで企業の要望に応え、今後も地域企業の人材採用を支え続けてまいります。

<b>会社概要</b>	商号 株式会社 中広 (CHUCO CO., LTD.) 東証・名証 証券コード [2139]	
	創業 1978年 資本金 4億430万円 従業員 448名 グループ全体 682名 (2024年7月末現在)	
<b>事業内容</b>	フリーマガジン事業 セールスプロモーション事業 クロスメディア事業	イベント・セミナー事業 通信販売事業 VC事業(ポランタリー・チェーン)
<b>理念</b>	広告業を通して「地域社会への貢献」 (地方創生に!)	
<b>社是</b>	人が命・人が宝・人が財産 機会損失の排除 (社員が輝く組織に!) (モノ・トキ・ココロの無駄ゼロ)	
<b>社訓</b>	飲水不忘掘井人 (感謝の心で!)	
<b>グループ会社</b>	株式会社中広メディアソリューションズ 株式会社ケイ・クリエイト 株式会社ケイビーエス 株式会社 関西ぼど	https://chuco-ms.co.jp http://www.k-create.co.jp http://www.post-kps.co.jp https://www.kansaipado.co.jp

第47期 基本方針

スローガン Data Driven テーマ 全員経営

<b>オフィシャル運営サイト</b>	●中広企業サイト ●中広採用サイト ●中広VCサイト ●フリモ(WEB) ●講演会インフォ ●わくわく生活(楽天)他 ●販促blog ●HAPPY MEDIA GUIDE(情報誌見稿サイト) ●ハッピーメディア®児童虐待防止運動 ●日本地域メディアネットワーク(JLMM)
<b>公式アカウント</b>	●Facebook ●YouTube ●Instagram ●X(旧Twitter) <a href="#">リンク集はこちら</a>
<b>加盟団体</b>	●JLAA 一般社団法人日本地域広告会社協会



- 本社**  
岐阜本社 岐阜市東興町27  
名古屋本社 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F
- FM・SP事業部**  
《北海道》SORA編集室 滝川市東町6-1-11 TEL.0125-74-6169  
旭川市東光6条6-4-7 TEL.0166-85-6158  
AO編集室 苫小牧市旭町3-7-6 TEL.0144-56-5704
- 《宮城県》とみず!編集室 仙台市泉区泉中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809  
なうてい!編集室 名取市手倉田字調訪532-1 1F西 TEL.022-797-8541  
さきっぺ!編集室 大崎市古川旭5-3-2 2F TEL.0229-25-8792
- 《群馬県》高崎フリモ 前橋フリモ編集室 高崎市新保町139-1 2F [高崎フリモ]TEL.027-353-8714 [前橋フリモ]TEL.027-353-8711
- 伊勢崎フリモ 太田フリモ編集室 伊勢崎市茂島町2-3522-6 TEL.0270-61-6117  
桐生みどりフリモ編集室 桐生市本町6-27-1 3F TEL.0277-47-7635
- 《埼玉県》クッキーズ・とねじん編集室 久喜市久喜中央2-8-23 3F TEL.0480-38-6881
- 《東京都》東京SP部 港区新橋2-16-1 9F TEL.03-6910-2940
- 《福井県》きらめきくらぶ編集室 敦賀市野神40-277-2 1F TEL.0770-24-2622
- 《岐阜県》GIFUTO編集室 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2512
- 《北海道》SARUBOBO編集室 高山市下岡本町2967-2 TEL.0577-34-5579  
Wao!Club・mintoup はしまる編集室 大垣市加賀野4-1-13 [Wao!]TEL.0584-75-1960 [mintoup]TEL.0584-77-4088 [はしまる]TEL.0584-71-8226
- 《岩手県》GUJUOプラス編集室 郡上市八幡町小野91-1 TEL.0575-67-0655  
たんどんくらぶ編集室 各務原市那加栄町14-1 TEL.058-380-6066  
きららくらぶ編集室 関市山王通1-6-3 TEL.0575-24-4334  
かにさんくらぶ編集室 可見市今瀬字町1595-190 TEL.0574-25-7009  
おりへくらぶ編集室 多治見市太平町4-38 TEL.0572-21-2626  
らせんくらぶ編集室 土岐市泉西山町1-4 3F TEL.0572-55-2033  
maika club編集室 中津川市中津川字上金1231-1 TEL.0573-62-2522  
官公庁営業部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511
- 岐阜SP部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511
- ES部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-248-5611
- EC部 大垣市加賀野4-1-13 TEL.0584-74-0745
- 《愛知県》NAGOYA FURIMO 各編集室 [中村・中川・港区版] 名古屋市中川区柳森町107 2F TEL.052-355-6111  
[中央・西区・北区・名東・天白・南区版] 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-433-1602  
緑区フリモ編集室 名古屋市緑区六田1-150 2F TEL.052-829-0270  
守山フリモ アサヒトセト・ひまわりくらぶ編集室 彦根市東本地方原町3-53 2F [守山フリモ]TEL.0561-42-5799 [アサヒトセト]TEL.0561-42-6981 [ひまわりくらぶ]TEL.0561-42-6971  
ゆいまるくらぶ・さんごくらぶ [ゆいまるくらぶ]TEL.0561-42-4850 [さんごくらぶ]TEL.0561-42-4895 [かなうくらぶ]TEL.0561-42-4855  
Cocon club・ちるくらぶ 安城フリモ・北知多フリモ フリモかわら編集室 知多郡東浦町大字柳川字下汐田17-1 TEL.0562-85-1077  
リアル倶楽部編集室 犬山市松本町2-29 TEL.0568-39-6111  
岡崎フリモ編集室 岡崎市明大寺町字東9-1 5F TEL.0564-83-7121  
西尾フリモ・オレンジクラブ編集室 額田郡幸田町大字芦谷字毛倉62 1F TEL.0564-83-7763
- 名古屋SP部 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-571-2139
- 《三重県》ぼろんくらぶ編集室 桑名市殿町10 TEL.0594-25-9988
- Belle club編集室 鈴鹿市神戸1-10-10 TEL.059-373-4400  
よっかいちai編集室 四日市市の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562  
つっぴ〜ず編集室 津市栄町1-840 5F TEL.059-213-7666  
リー・クラブ編集室 名張市鴻之台3番町36-1 TEL.0595-41-0156  
ふぁみんくらぶ編集室 松阪市東町596 3号棟 1-A TEL.0598-31-3623  
イセラクラブ編集室 伊勢市若洲3-6-5 2F TEL.0596-63-8282  
からっと倶楽部編集室 尾鷲市坂場西町2-34 2F TEL.0597-37-4100  
さみっくらぶ編集室 志摩市阿児町鶴方2850-126 D号室 TEL.0599-65-7201  
三重SP部 四日市市の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562
- 《滋賀県》はてじゃ倶楽部編集室 長浜市宮司町1161-7 2F TEL.0749-68-2577  
こんきくらぶ編集室 彦根市長曾根町9-22 1F TEL.0749-26-0555  
アウトテイク編集室 近江八幡市坂宮町289 3F TEL.0748-36-1148  
湖南フリモ・甲賀フリモ編集室 東海市手原5-6-19 TEL.077-596-3335
- 《奈良県》かしろくらぶ編集室 橿原市葛本町260-1 1F TEL.0744-48-0606  
《和歌山県》まいなが・まいとん編集室 岩出市高瀬84-2 2F TEL.0736-67-7630  
《鳥取県》つばさ編集室 鳥取市吉方温泉3-860 2F TEL.0857-30-6446  
くららくらぶ編集室 倉吉市山根540-1 4F TEL.0858-27-0510  
こはくらぶ編集室 米子市西福原2-9-49 2F TEL.0859-21-5400
- 《広島県》はつカラ編集室 廿日市市新宮2-1-10 1F TEL.0829-30-6673
- 《福岡県》マイタウン西区版編集室 福岡市早良区西新5-1-30 3F TEL.092-833-5250  
むなふ・おるね編集室 宗像市土穴1-3-34 1F [むなふ]TEL.0940-72-6101 [おるね]TEL.0940-72-6102  
福岡SP部 [北九州SP課] 北九州市小倉北区堺町1-3-15 4F TEL.093-383-7581 [福岡SP課] 福岡市早良区西新5-1-30 3F TEL.092-400-5955
- 《佐賀県》月刊TOSS編集室 鳥栖市東町1-1064-15 1F TEL.0942-50-9619
- 《VC事業部》 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511

	会社のあゆみ	HAPPY MEDIAのあゆみ
1978	設立 後藤数次社長就任	
1983	求人情報紙事業開始	
1986	後藤一俊社長就任	
1993	イベント・セミナー事業開始	
1994		●岐阜県 / 「かにさんくらぶ」創刊
1997		●滋賀県進出
1998	通信販売事業開始	
2006		●三重県進出
2007	名古屋証券取引所セントレックス上場	●50万部達成
2008		●福井県進出 講演会インフォ公式サイト開始
2009		●100万部達成
2010		●愛知県進出
2012	名古屋証券取引所第二部上場 VC事業開始	●全国展開開始(VC) ●福岡県・山梨県・兵庫県・和歌山県進出 ●200万部達成
2013		●山形県・茨城県・鳥取県進出 ●300万部達成
2014	東京証券取引所第二部上場	●栃木県・宮城県・新潟県・群馬県・大阪府進出 ●岐阜県広報「岐阜県からのお知らせ」掲載開始
2015	東証一部・名証一部に市場変更	●北海道・埼玉県・佐賀県・香川県進出 ●50万部達成
2016		●高知県・福島県・長野県・京都府進出 「ままここと」創刊
2017		●東京都・愛媛県・静岡県・千葉県・宮崎県・奈良県進出
2018		●三重県「三重県からのお知らせ」掲載開始 ●大分県進出
2019	中島永次社長就任 株式会社アド通信社西部本社設立	[Start!]創刊
2020	岐阜市・笠松町とシティ・タウンプロモーションの推進に関する連携協定締結	●沖縄県進出
2021	多治見市とシティプロモーションの推進に関する連携協定締結	クーポンアプリ「フリモ」開始 ●1,000万部達成
2022	大島齊社長就任 株式会社中広メディアソリューションズ設立 株式会社ケイ・クリエイト/株式会社ケイビーエス グループ化	●神奈川県進出
2023	株式会社関西ぼど グループ化	
2024		●広島県進出

※従業員数はグループ会社含む ●…地域みっちゃく生活情報誌®

## 営業拠点

■ グループ戦略統括事業部  
名古屋市中村区名駅1-1-1 24F  
TEL.052-562-2139

■ 管理本部  
経理部・総務人事部  
岐阜市東興町27 2F  
TEL.058-240-4005  
[購買流通課]TEL.058-246-0285

■ グループ会社  
株式会社関西ぼど本社  
大阪市西区初本町1-10-24 5F  
TEL.06-6479-3113  
北大阪支社  
寝川市大和町10-10 1F  
TEL.072-827-0817

株式会社中広メディアソリューションズ  
横浜支局  
横浜市中区真砂町3-38 5F  
TEL.045-225-9267

埼玉支局  
さいたま市南区南浦和2-39-16 3F  
TEL.048-767-8238

仙台支局  
仙台市若林区新寺1-2-26 5F  
TEL.022-792-8101

山形オフィス  
山形市蔵訪町1-1-1 2F  
TEL.023-616-7390

株式会社ケイ・クリエイト本社  
一宮市木曾川町里小牧東町125  
TEL.0586-86-0608

東尾張支社  
岩倉市新柳町1-50 2F  
TEL.0587-96-8331

株式会社ケイビーエス  
岩倉市新柳町1-50 2F  
TEL.0587-96-8336